

平成29年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

〒563-0024
住所 池田市鉢塚緑地1丁目4番13号
協議会名 鉢塚緑地地区コミュニティ推進協議会
会長名 高橋 仁



記

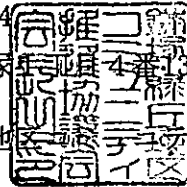
事業名	地域防災体制強化等事業
事業実施前の状況	防災訓練が各自主防災隊の持ち回り開催であったため、それを一元化する。
事業実施後の状況	自主防災隊による開催ではある程度限界があったが、より効率的に運営できた。
事業の効果	自主防災隊が有名無実化している地区もありコミュニティが主催することでその地域の人たちからもよかったと言われた。
今後の課題	自主防災隊や地域の自治会などがない地域への働きかけが課題。

平成29年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

〒563-0024
住所 池田市鉢塚4番13号
協議会名 鉢塚緑丘地区防災推進協議会
会長名 高橋 仁



記

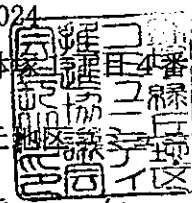
事業名	地域防災体制強化等事業
事業実施前の状況	歳末警戒の際など夜の災害警備活動を行動しやすくしたい。
事業実施後の状況	歳末警戒などは子供たちも参加するためテント前や格納庫前を明るくする必要があったが、明るくなった。
事業の効果	安心して夜間の活動ができた。
今後の課題	効果的に使用できている。

平成29年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

〒563-0024
住所 池田市鉢塚1丁目4番13号
協議会名 鉢塚緑丘地区緑地推進協議会
会長名 高橋 仁



記

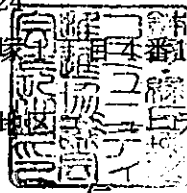
事業名	AED管理事業
事業実施前の状況	UR集会所に設置したAEDの部品交換の時期がきている
事業実施後の状況	新しいバッテリーに交換した。
事業の効果	通常に使用可能である。
今後の課題	屋内にあっては役に立たないとの意見が多くある。URの集会所も鍵がかかっている時間帯があり、検討の余地あり。

平成29年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

〒563-0024
住所 池田市鉢塚1丁目本番13号
協議会名 鉢塚緑丘地区交通安全推進協議会
会長名 高橋 仁



記

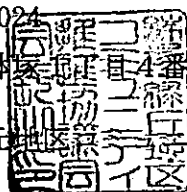
事業名	道路安全対策事業
事業実施前の状況	歩行者や通行車両に歩行者が歩く位置を明確にしたい。
事業実施後の状況	色がついていることで車両や歩行者にそれぞれのレーンを認識しやすくなった。
事業の効果	道路が安全に通行できるようになった。
今後の課題	安全に通行するように徹底する。

平成29年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

〒563-0024
 住所 池田市鉢塚緑丘4番13号
 協議会名 鉢塚緑丘地区緑丘PTA推進協議会
 会長名 高橋 仁



記

事業名	緑丘小学校金管バンド支援事業
事業実施前の状況	修理する予算もなくボロボロの楽器で練習する子供たちに楽器を提供し地域の人と吹奏楽を通して交流する機会を持ちたい。
事業実施後の状況	新しい楽器を使って元気に練習する子供たちを演奏会を通して地域と交流した。
事業の効果	今年度は金管バンドが大活躍し、全国大会にも出場。地域の人にとっても誇りを持てるバンドになった。
今後の課題	PTAや学校に地域コミュニティーのお金を使うのはなじまないという意見を耳にするが、PTA会員も子供たちも地域の重要な住民である。そして学校はコミュニティーの活動に欠かせないパートナーである。

平成29年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

〒563-0024
住所 池田市鉢塚1丁目4番13号
協議会名 鉢塚緑丘地区子育て推進協議会
会長名 高橋 仁



記

事業名	水月児童文化センター放送設備整備事業
事業実施前の状況	5時を過ぎても公園で遊んでいる子供たちに帰るよう促したい。
事業実施後の状況	タイマーがないため、児童文化センターの職員に放送をお願いした。
事業の効果	水月公園の梅林側には放送設備がなかったため、何の告知もできなかったが できるようになった。
今後の課題	5時になったら自動で放送するようにしたい。

平成29年 5月 31日

事業の評価書

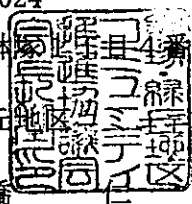
池田市長 様

〒563-0024

住所 池田市鉢塚4番13号

協議会名 鉢塚緑丘地区ミニシティ推進協議会

会長名 高橋



記

事業名	地域コミュニティー紙等発行事業
事業実施前の状況	毎年年3回発行。
事業実施後の状況	最近、コミュニティー紙を見てきたという人も時々あらわれた。
事業の効果	菖蒲祭りの時、コミュニティー紙に付けている80歳以上無料券の使用者が増えている。
今後の課題	地域の人にこのコミュニティー紙を利用してもらえるようにしたい。

平成29年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

〒563-0024

住所 池田市鉢塚4番13号

協議会名 鉢塚緑丘地区地域交流推進協議会

会長名 高橋



記

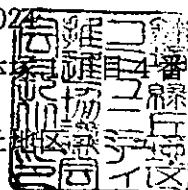
事業名	地域イベント開催事業
事業実施前の状況	多くの住民の参加を得て、順調に推移している。内容については例年と変わらず行う。
事業実施後の状況	受講者も新しい顔が増えた。80歳以上無料券も定着している。 動物園も盛況であった。
事業の効果	当日に茶道教室を併設しているが、年々親子での参加が増えてきている。 茶道が校区の人たちにとって身近なものとなっている。 動物園も列ができるほどの盛況であった。
今後の課題	指導していただいている先生方の高齢化、指導が負担になってくるかもしれない。 現在は来年度に向けて指導いただくことで進んでいる。

平成29年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

〒563-0024
住所 池田市鉢塚1番13号
協議会名 鉢塚緑丘地区緑地推進協議会
会長名 高橋 仁



記

事業名	健康啓発講座開催事業
事業実施前の状況	認知症についての知識や認識を深める講習会を開催したい
事業実施後の状況	認知症についての知識が深まった。
事業の効果	昨年より希望者が増え、講座の知名度も上がってきた。
今後の課題	講座をより広く広報して参加者を増やしたい。

平成29年 5月 31日

事業の評価書

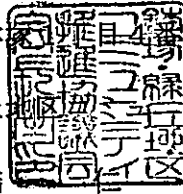
池田市長 様

〒563-0024

住所 池田市鉢塚4丁目13号

協議会名 鉢塚緑丘地区活動センター推進協議会

会長名 高橋



記

事業名	オペラ鑑賞会開催事業
事業実施前の状況	地域の人達に本当の音楽芸術を鑑賞していただく機会を創る。
事業実施後の状況	小学生をはじめ、地域の保育園児、幼稚園児そして地域住民に鑑賞していただいた。初めて体験した人が多く喜んでいただいた。
事業の効果	マイクなどを使わない人本来の声での演奏に先生たちから「これは本物や」との感想をいただいた。
今後の課題	もっと多くの人に来場いただけるよう工夫が必要。

平成29年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

〒563-0024

住所 池田市鉢塚1-4番13号

協議会名 鉢塚緑丘地産物推進協議会

会長名 高橋



記

事業名	ふれあい講習会開催事業・星座観察会
事業実施前の状況	毎年緑丘小学校の運動場で実施していたが、惑星と月くらいしか観測できないため西播磨天文台で本当の星空を体験してもらう。
事業実施後の状況	たくさんの参加者を得て大変好評であった。
事業の効果	大阪大学の天文同好会など知識が豊富な人たちの応援を得て参加者に感動していただいた。学生のお兄さんに教えてもらいながら自由研究をしている子供たちが多くいた。
今後の課題	会員以外のボランティアなくしては考えられない事業である。その人たちへの負担が問題。

平成29年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

〒563-0024

住所 池田市鉢塚4番13号

協議会名 鉢塚緑丘地区落語会推進協議会

会長名 高橋



記

事業名	ふれあい講習会開催事業・落語会
事業実施前の状況	プロの落語家による落語を身近に聞く機会を提供する。
事業実施後の状況	会場内は笑いに包まれ、心の安らぎを得ることができた。
事業の効果	大阪大学落語研究会の参加も得て、鶴笑師匠との大喜利もあり、たいへん盛況であった。
今後の課題	前回の反省もあり今回はチラシを全戸配布した。空席なしの盛況であった。 鶴笑さんが3回目であることもあり、新しい候補を探している。

平成29年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

〒563-0024

住所

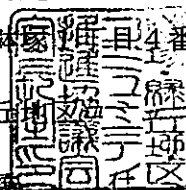
池田市鉢塚4番13号

協議会名

鉢塚緑丘地区コミュニティ推進協議会

会長名

高橋



記

事業名	ふれあい講習会開催事業・音楽の宝石箱
事業実施前の状況	ふれあいフェスティバルの午後の部として毎年開催している。
事業実施後の状況	今年はBE IN VOICES の演奏会を行った。
事業の効果	子供たちとのジョイントがあつたり、会場が一体となった。
今後の課題	子供からお年寄りまで楽しめるものでなくてはならない。

平成29年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

〒563-0024
住所 池田市鉢塚1丁目4番13号
協議会名 鉢塚緑丘地区款マイ推進協議会
会長名 高橋 仁



記

事業名	ふるさと再発見講座開催事業
事業実施前の状況	例年行われており、地域に定着した事業になっている。
事業実施後の状況	例年、抽選をしないとイケないくらいの活況である。
事業の効果	池田や池田に係わる場所や文化に愛着が湧いたと思われる。
今後の課題	本来のふるさと再発見講座から少し外れてきている向きがある。 学校はコミュニティーの活動に欠かせないパートナーである。